

多久家文書を読みなおす2

東京大学史料編纂所共同利用・共同研究拠点特定共同研究「近世初期大名家における大身家臣史料群の研究資源化」プロジェクトグループ成果報告シンポジウム

2017年11月26日(日)午後1時～4時30分(開場12時30分)

会場 多久市東原庁舎(多久市多久町東ノ原1843-3)

※多久聖廟隣り(裏面に案内図あり)

定員80名 事前申し込み不要 参加無料

テーマ 近世前期における公儀軍役負担と佐賀藩

個別報告1 及川亘(東京大学史料編纂所)

現場監督する大名—多久家文書にみる公儀普請—

個別報告2 大平直子(佐賀市教育委員会)

城割だって公儀普請?!

—多久家文書にみる大坂冬の陣後の城割普請—

個別報告3 清水雅代(佐賀県立図書館)

佐賀藩の長崎警備—正保二年の鍋島勝茂書状を中心に—

個別報告4 小宮木代良(東京大学史料編纂所)

明清交替情報と佐賀藩の長崎番役

総括シンポジウム

*東京大学史料編纂所の特定共同研究「近世初期大名家における大身家臣史料群の研究資源化」(代表小宮木代良、2016年度～2017年度)では、2014年度から2015年度にかけて行った同共同研究「佐賀藩史料多久家史料の研究」に引き続き、佐賀県を中心とする研究者との共同作業により、多久市郷土資料館所蔵の多久家史料を分析しています。2015年度開催の第一回シンポジウムに引き続き、第二回となる本シンポジウムにおいては、近世前期の佐賀藩政の中心を担った多久家の史料から、当時の佐賀藩に幕府より命じられた大規模な軍事動員(公儀普請・長崎番役等)の実態解明をテーマとし、共同研究によってあきらかになった側面を報告します。

主催 特定共同研究「佐賀藩家臣多久家史料の研究」プロジェクト

協力 多久市教育委員会

問合せ先 shiryokan@city.taku.lg.jp 多久市郷土資料館 志佐 TEL 0952-75-3002

アクセス案内

【JR】唐津線 多久駅下車
タクシー約10分

【お車の際】

